

vol.13

START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社 FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。



トドケル株式会社

VM ベジメディア
VEGE MEDIA



#“おいしい”をもっととどける

私たちとどける株式会社は農家さんの収益改善を目的に「VEGETABLE（ベジメディア）」の運営管理を行っています。ベジメディアとは契約農家さんの使用する野菜包装紙に企業さんのPRを掲載し、関東、関西、九州のスーパーマーケットに流通し広告宣伝を行い、また流通される包装紙は農家さんへ無償で提供しコスト削減へと繋げております。

ベジメディアのポテンシャル

広告のターゲットはスーパーマーケットで買い物をする主婦層がメインで使用するお野菜は企業様によって様々です。コロナ禍で外食が減っている



スーパーの売り場で陳列された一例

中、スーパーマーケットの需要は上がっております。また、野菜のリーチ率は96・5%。ここまでのダイレクト広告は今までにないほか、今年より開始したストアタイアップ企画でスーパーのセグメントも可能となり、さらにお野菜の広告と同時期に隣で広告商品の販売も出来る様になりました。購買意欲のある主婦層にダイレクトに商品を購入出来る媒体は今までなく、広告の認知・購入までのハードルを一気に下げ企業さんのマーケティングのお手伝いをさせていただきます。

当社の強みと私たちの考え

当社の強みと役割はただ広告を出すのではなく企業担当者様と一緒に広告を企画として考えていったら消費者に刺さり面白い取り組みになるかを一緒に考え実現します。つまり、新しいクライアントと一緒に事業をクリエイティブ、挑戦も成功も分かち合いますというのが私たちのやり方です、広告メーカーだからその強みです。広告を見る消費者達は広告に対するイメージは良いのでしょうか、YouTubeで流れる広告はテクノロジーや効率を重視しすぎて消費者もスキップするのが当たり前になっています。

しかし企業広告の本来のあり方は消費者に

とつて有益な情報を届け、なぜこの広告が今ここで流れているのかを考えさせ、納得し観て楽しんでもらえるものだと考えています。私たちは広告に携わる以上一番に考える事です。まだ全く新しい広告媒体のベジメディアです。今後の可能性と広告としてのポテンシャルは十二分にあると考えております。

今後の展望と目標

当社は今後、システム開発から流通の見える化を行います。農作業の自動ロボットなどAI、IoTは当たり前に進んでいる中、当社ではベジメディアを元に農業の課題である耕作放棄地・人材不足・新規参入者の減少をビジネスと教育の面から解決していきます。



会社概要

とどける株式会社

代表取締役 國武 悠也

本社 福岡市博多区中洲3丁目7-24-11F
WeWork

HP <https://todokeru.co.jp/company.html>

